

『生徒の自立を育み、信頼される学校の創造』

生徒

- 知～二極化傾向がある
- 徳～対人関係力が弱い
- 体～部活に一生懸命
- 情～素直だが幼い面
- 信頼関係構築が最も重要

保護者

- 望ましい生活習慣・学習習慣等の定着が課題
- 父母や祖父母等の適切な関わりが求められる
- PTA活動は協力的だが委員のなり手は不足
- 小学校PTAとの連携やPTA講演会の役割大きい
- 学校に対する期待や要望が多く価値観が多様化

地域

- 宅地造成により児童生徒が急増
- 札幌連合町内会の影響力が大きい(夏祭り最大級)
- 3つの小学校が母体校
- 学校評議員の支援が大きい

社会状況

- 感染症対策を講じた学校教育の推進
- 「小中一貫した教育」の推進
- ICTを活用した教育の推進
- 国をあげた働き方改革、部活動活動基準の設定
- 「主体的で対話的深い学び」の推進
- いじめ、不登校、支援を要する子どもへの対応
- インクルーシブ教育推進
- 危機管理意識・服務規律

学校教育目標 (札幌北中学校の目指す教育)

自主自立

「生命を尊重し逞しさと豊かさ

をもって生き抜く人間の育成」

《知》 《徳》 《体》 《情》

- 知性を磨き豊かな創造力を持った生徒(知性の錬磨)
- 徳性を高め健全な社会性を身につけた生徒(徳性の涵養)
- 心身を鍛え健康で実践力を持った生徒(心身の鍛錬)
- 美しさを求め豊かな感性を持った生徒(情操の高揚)

学校経営の基本方針

地域に根ざした学校、活力潤いのある学校をめざして、
全職員が専門職としての自覚と誇りをもち教育活動を推進する

- (1) 教職員相互の協力体制を基盤とする学校経営(チーム札幌北中)
- (2) 生徒が所属感・充実感・自己肯定感を感じる教育活動の推進
- (3) 保護者・地域・関係機関との連携による学校教育の充実
- (4) 本校の学校文化を継承するとともに特色のある学校づくり

『明るい挨拶』 『心に響く歌声』
『創意に満ちた生徒会』 『汗と涙の部活動』

自立した札幌人

(札幌市の教育が目指す人間像)

令和4年度 札幌市学校教育の重点

「人間尊重の教育」を基盤と位置付け

知・徳・体の調和のとれた育ち

- 学ぶ力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成

札幌らしい特色ある学校教育 【雪】 【環境】 【読書】

子どもの発達への支援 特別な配慮を必要とする子どもへの教育
教科等の枠組みを超えた教育 【キャリア教育】 【国際理解教育】

信頼される学校の創造

I 学校運営の基本方針

経営方針については、本校の教育目標を目指すものと考えているが、本校は同時に市立中学校であることから、札幌市から示された「人間尊重の教育」を重点の基盤として、「包括的重点」、「教育の重点」、「目指す人間像」の実現に努力しなくてはならないと考える。そこで、今年度札幌市が提示した『知・徳・体の調和のとれた育ち』に向けて、本校は以下のことに重点を置いて取り組むこととしたい。

- (1) 「学ぶ力の育成」～○知性を磨き豊かな創造力をもった生徒
 - 自ら学ぶ意欲と学力の向上を図る学習指導の充実
 - 授業、家庭学習での学習習慣の定着を図る
 - 指導力の向上を目指した専門職としての研鑽

- (2) 「豊かな心の育成」～○徳性を高め健全な社会性を身につけた生徒
 - 「言葉を大切にする指導」の徹底
 - 認め合い、支え合える集団づくり
 - 全教職員の毅然とした一貫性のある生徒指導の姿勢

- (3) 「健やかな体の育成」～○心身を鍛え健康で実践力をもった生徒
 - 自他の生命を尊重する人間教育、性教育の推進
 - 体力の増進と自己管理能力を育てる教育の推進
 - 運動習慣や食育の推進

- (4) 「豊かな情操（感性）の育成」～○美しさを求め豊かな感性をもった生徒
 - 美しいものに感動できる豊かな感性の育成
 - 心を込めて歌える合唱指導の推進
 - 体験を通して感性を育む

- (5) 「信頼される学校の創造」
 - 安心・安全な学校づくりのための危機管理意識の醸成
 - 教師の資質・能力の向上をめざす校内研修体制の推進
 - 保護者との対話の時間を意図的につくり困り感を払拭

2 今年度の重点目標

(1) 分かる・できる・楽しい授業づくり …運営方針(1)関連

- ①分かる・できる・楽しい授業→課題探究的な学習を取り入れた授業の工夫の研修
- ②1人1台端末の有効活用→PJによる研修、全教職員による活用
- ③自分への自信をもたせるきめ細かな指導の充実に努める

(2) 居場所のある教室づくり …運営方針(2)・(3)・(4)関連

- ①命を大切に指導を充実させる。
- ②いじめ撲滅→いじめ対応委員会の設置・活用、迅速かつ組織的な対応、いじめが起きづらい風土の醸成
情報の共有化と全職員による生徒の育成→生徒情報、校務支援の有効利用
- ③「不登校」の防止と適切な対応に努めるとともに、新たな不登校を生じさせない未然防止の取組を推進する。
- ④生徒の居場所作り→学級、部活動、相談活動
- ⑤欠席生徒への細やかな連絡→初期対応の充実、連続欠席生徒への家庭訪問、成績資料等の細やかな配慮
- ⑥問題事例等発生時の保護者との連携→保護者連絡等をもっての事態収束を意識する

(3) 動きが見える学校づくり …運営方針(5)関連

- ①安心・安全な学校づくりを「見える化」する。
- ②子どもたちの健やかな成長のために、校区内小学校や関係機関との連携を図る。
- ③学校評価、学校関係者評価を学校改善につなげる
- ④学校ホームページ・学校便り・各種お便り・PTAメールを活用し、情報を発信する

(4) 教職員の心身の健康保持

- ①定時退勤日を設定し、時間外勤務の縮減に努める。
- ②「部活動活動基準」の主旨を踏まえ、部活動指導が極度に教職員への負担とならないように配慮する。
- ③定期検診や学校医等を積極的に活用し、教職員の健康保持に努める。

《チーム札苗北中》 2022 スローガン 「和」

認め合い、支え合い、高め合うチーム

認め合う→お互いの良さを！ 支え合う→困った時はお互い様！ 高め合う→専門職としての誇り！

- ①情報の迅速な共有化 ⇒一人で抱え込まない
伝達は2方向以上へ【個<学年・係<部<管理職】
- ②教職員の信頼関係の構築
- ③働き方改革の全教職員での推進（アークスチャレンジ）

《キーワード》

★教職員（個人）として・・・熱意 誠意 創意

★集団（チーム）として・・・認め合い（愛）、支え合い（愛）、高め合い（愛）

★具体的行動指針 ……率先垂範